

## 第2編 第2章

# フォトフェスタと写真甲子園

「写真の町」の源流をたどる第1章「はじまり」に続いて、この第2章では1985年（昭和60年）の写真の町宣言以降、おおむね2019年度（令和元年度）までに東川町が取り組んできた写真文化に関するさまざまな取り組みを振り返る。

第1節で紹介する東川町国際写真フェスティバル（フォトフェスタ）は、「写真の町」の一年間の集大成として、また次の年への新しい出発を飾るため毎年夏に開催される写真の祭典だ。写真の町東川賞の授賞式やさまざまな写真展、ワークショップ、全国高等学校選手権大会（写真甲子園）の本戦大会など、写真に関する多彩な催しが約1カ月間にわたって開催される。国内で最も早い時期から定期開催されている写真フェスティバルという側面もある。第2節では写真甲子園を詳しく紹介する。

東川町のまちづくりの原点ともいえる「写真の町」については、この第2章で完結する。続く第3編は「議会・選挙」とし、行政のチェック機関としてまちづくりの両輪をなす東川町議会の歴史や、町内で行われた各級選挙の結果を振り返る。



第2章 フォトフェスタと写真甲子園

## 第1節 東川賞とフォトフェスタ

### 写真の町東川賞

(写真の町東川賞は) 写真文化への貢献と育成、東川町民の文化意識の醸成と高揚を目的とし、これからの時代をつくる優れた写真作品(作家)に対し、1985年(昭和60年)を初年度とし、毎年、東川町より、賞並びに賞金を贈呈している。

海外作家賞は、世界をいくつかの地域に分割し、年ごとに対象地域を移動させ、やがては世界を一巡するものとし、発表年度を問わず、その地域に国籍を有するかまたは出生、在住する作家を対象とする。

国内作家賞及び新人作家賞は、発表年度を過去3年間までさかのぼり、写真史上、あるいは写真表現上、未来に意味を残すことのできる作品を発表した作家を対象とする。

特別作家賞は、北海道在住または出身の作家、もしくは、北海道をテーマ・被写体とした作品を撮った作家を対象とする。また2010年(平成22年)に追加された飛弾野数右衛門賞は、長年にわたり地域の人、自然、文化などを撮り続け、地域に対する貢献が認められる作家を対象とする。

### 東川賞の特徴

東川賞の第1の特徴は、日本で初めて自治体によって写真作家賞が制定されたこと。第2の特徴は、日本の写真作家賞がすべて「年度」賞であるのに対し、国内作家賞、新

人作家賞については作品発表年から3年間を審査の対象とし、作品の再評価への対応にも努めている。そして第3の特徴として、海外の写真家を定期的に顕彰し、あまり知られていない海外の優れた写真家を日本に紹介してきたこと。また顕彰を通じて海外の人々と出会い、交流し、平和への祈りと夢のひろがりを次の時代に託すことにある。

## 審査、表彰と賞金

東川町長が依頼するノミネーターにより推薦された作品を、東川町長が委嘱した委員で構成する写真の町東川賞審査会が審査する。授賞式は毎年、東川町国際写真フェスティバル開催期間中に東川町内で行い、合わせて受賞作家作品展、受賞作家フォーラムなどを開催する。

各賞の賞金は第1回から2009年（平成21年）の第25回までは海外作家賞と国内作家賞が各50万円、新人作家賞と特別作家賞は各30万円。飛弾野数右衛門賞が追加された2010年に賞金も見直され、以後海外作家賞と国内作家賞が各100万円、新人作家賞、特別作家賞、飛弾野数右衛門賞は各50万円になった。

また受賞者には対象作品の中から任意に、東川町民にオリジナルプリントを寄贈してもらい、東川町民はその作品を永久的かつ大切に保管し、写真の町東川町を訪れる人々に公開する責任をもち、東川町文化ギャラリーに展示し、友好や文化に貢献できるよう努めている。

（ここまで「写真の町東川町規程」より抜粋）

次ページから紹介するのは、1985年（昭和60年）から2019年（令和元年）の東川賞と東川町国際写真フェスティバル（フォトフェスタ）だ。年ごとに、■東川賞歴代受賞作家や受賞理由■審査会委員■フォトフェスタの概要■その年の主な出来事ーの順でまとめた。

一方本書では、スペースの制約などから東川賞受賞作品の作品紹介は十分にできない。このため受賞作品は、東川町国際写真フェスティバル公式ホームページの収蔵作品データベースを参照するとよい。

収蔵作品データベースは次の通り（2022年9月時点）。

<https://photo-town.jp/collection>

■第1回（1985年）東川賞

海外作家賞 ジョール・スターンフェルド <アメリカ合衆国>

Joel STERNFELD, 自然と人間社会の周辺をとらえた一連のカラー作品に対して

国内作家賞 須田 一政

SUDA Issei, 作品「日常の断片」と一連の作家活動に対して

田原 桂一

TAHARA Keiichi, 写真集「世紀末建築」に対して

新人作家賞 該当者なし

None

特別作家賞 志賀 芳彦

SHIGA Yoshihiko, 写真集「大雪」に対して

■第1回審査会委員（敬称略／五十音順）

小池 一子 クリエイティブディレクター

重森 弘淹 写真評論家

長友 啓典 アートディレクター

山口 昌男 文化人類学者

渡辺 義雄 写真家

■第1回フォトフェスタ（8/24～9/30）

テーマ「人間謳歌 自然賛歌」

- ・ 記念コンサート（加瀬邦彦とザ・ワイルドワンズ）
- ・ フォトオリエンテーリング撮影会
- ・ 東川写真塾
- ・ 子ども写真カーニバル（にこにこぷんショー）
- ・ タモリー義写真展「気分は写真家」ほか

■1985年のあれこれ

- ・ フォトフェスタの「東川写真塾」とはプロの写真家による写真のワークショップ。開催時期は年によってさまざまだが、毎年恒例の人気企画だ。のちに「写真の町ワークショップ」として、女性対象、子ども対象など多彩に企画されるようになる。
- ・ 記念すべき第1回東川賞だったが、審査はまだ試行錯誤だったようだ。国内作家賞に2氏が選ばれた一方、新人作家賞は「該当者なし」という結果になった。翌年以降は各賞1人ずつ選ばれるようになった。

■第2回（1986年）東川賞

海外作家賞      ルシアン・クレルグ <フランス>

Lucien CLERGUE, 一連のヌード作品及びアルル国際写真フェスティバル、ワークショップ活動など、写真への貢献、功勞に対して

国内作家賞      篠山 紀信

SHINOYAMA Kishin, 一連の「シノラマ」作品（特にソウル・東京）に対して

新人作家賞      林 隆喜

HAYASHI Takanobu, 写真集「ZOO」に対して

特別作家賞      関口 哲也

SEKIGUCHI Tetsuya, 一連の風景写真作品および作家、発表活動に対して

■第2回審査会委員（敬称略／五十音順）

植田 正治      写真家

小池 一子      クリエイティブディレクター

重森 弘淹      写真評論家

長友 啓典      アートディレクター

山口 昌男      文化人類学者

渡辺 義雄      写真家

■第2回フォトフェスタ（7/27～8/31）

テーマ「森羅万象・人間宇宙」

- 写真アンデパンダン展
- 大雪山フォトオリエンテーリング
- 札幌グリーンコンサート
- モデル撮影会ほか

■1986年のあれこれ

- 初開催の写真アンデパンダン展は一般の人が自由に写真を展示し、フォトフェスタで訪れた写真のプロなどから批評を受けることができる。「若手の登竜門」としても知られ、「合評の集い」など関連企画を合わせ、「東川自由フォーラム」としてフォトフェスタには欠かすことのできない人気企画となった。のちの2004年に改称して写真インディペンデンス展に。
- 東川町フォトフェスタがインタークロス研究所（東京）主催の第2回日本イベント大賞で審査員特別賞に選ばれた。「地方の町や村がこれから目指すべき方向の一つを実行した」と、評価された。1986年（昭和61年）7月に東京で開かれた表彰式には中川音治町長が出席した。

■第3回（1987年）東川賞

海外作家賞 ジョール・マイヤーウィッツ <アメリカ合衆国>

Joel MEYEROWITZ, 写真集「ケープ・ライト」「セントルイス・アンド・ジ・アーチ」他作家活動に対して

国内作家賞 奈良原一高

NARAHARA Ikko, 写真集「ヴェネツィアの光」に対して

新人作家賞 今 道子

KON Michiko, 写真集「イート」に対して

特別作家賞 神部 弘二

KANBE Koji, 写真集「自然・花そして空知川」及び永年のアマチュア作家活動に対して

■第3回審査会委員（敬称略／五十音順）

植田 正治	写真家
小池 一子	クリエイティブディレクター
重森 弘淹	写真評論家
長友 啓典	アートディレクター
山口 昌男	文化人類学者
渡辺 義雄	写真家

■第3回フォトフェスタ（7/26～8/26）

テーマ「自然と人がとけ合う ― 遊び発、出会い行き。」

- 写真アンデパンダン展
- 大雪山フォトオリエンテーリング
- 対談（倉本聰氏、竹田津実氏）
- 東川写真塾
- モデル撮影会ほか

■1987年のあれこれ

- 1987年（昭和62年）はバブル経済が最盛期を迎えようとしていた時期。この年に国が制定した総合保養地域整備法（リゾート法）に基づき、東川町や周辺も富良野・大雪リゾート地域構想のエリアに含まれることとなった。経済が過熱し過ぎることなどバブルの功罪はあるが、よちよち歩きを始めたばかりの「写真の町」にとって、観光客が大きく増加するなど少なからず追い風になった。

■第4回（1988年）東川賞

海外作家賞      ルイス・ボルツ <アメリカ合衆国>

Lewis BALTZ, 写真集「サン・クエンティン・ポイント」他作家活動に対して

国内作家賞      植田 正治

UEDA Shoji, 写真展「砂丘」他作家活動に対して

新人作家賞      伊奈 英次

INA Eiji, 写真展「ゾーン」に対して

特別作家賞      竹田津 実

TAKETAZU Minoru, 写真集「跳ベキタキツネ」「チロンヌップの詩」他作家活動に対して

■第4回審査会委員（敬称略／五十音順）

植田 正治      写真家

小池 一子      クリエイティブディレクター

重森 弘淹      写真評論家

長友 啓典      アートディレクター

奈良原一高      写真家

山口 昌男      文化人類学者

渡辺 義雄      写真家

■第4回フォトフェスタ（7/9～8/28）

テーマ「出会い、今少年のように」

- 写真アンデパンダン展
- 大雪山フォトオリエンテーリング
- 対談（樫山文枝氏、竹田津実氏）
- 東川写真塾
- フォトコンテストほか

■1988年のあれこれ

- ボランティアとしてフォトフェスタの運営を体験してもらう「フォトフェスタふれんず（フォトふれ）」がこの年から始まった。
- 東川町商工会と同青年部が1988年（昭和63年）6月、「商店街活性化と写真映りのよい絵になる街並みづくり」を目指して手作り木彫看板の設置事業に正式に着手した。前年、試作品を松倉菓子舗（当時）に設置して以来、テレビや新聞で取り上げられるなど注目を集め、「東川らしい」事業の先駆けとして知られるようになった。

■第5回（1989年）東川賞

海外作家賞 石 少華 <中華人民共和国>

SHI Shaohua, 写真集「石少華作品選」並びに中国写真界を育成された功勞に対して

国内作家賞 渡部 雄吉

WATABE Yukichi, 写真集「神楽」に対して

新人作家賞 築田 純

TSUKIDA Jun, 写真集「スポーツシアター」に対して

特別作家賞 佐藤 雅英

SATO Masahide, 写真集「Boys, be ambitious! 北海道大学旧恵廸寮写真集」に対して

■第5回審査会委員（敬称略／五十音順）

植田 正治 写真家

小池 一子 クリエイティブディレクター

重森 弘淹 写真評論家

長友 啓典 アートディレクター

奈良原一高 写真家

山口 昌男 文化人類学者

渡辺 義雄 写真家

■第5回フォトフェスタ（7/23～8/20）

テーマ「もうひとつの冒険…そして出会い…。」

- 写真アンデパンダン展
- 大雪山フォトオリエンテーリング
- ジャンボ針穴カメラ
- 東川写真塾ほか

■1989年のあれこれ

- 1989年（平成元年）11月3日、東川町文化ギャラリーが開館した。当初は写真だけではなく、彫刻、絵画、文芸作品など文化作品全般の展示スペースとして活用され、89年のオープン記念展も東川賞受賞作品展のほか複製絵画展、東川町民総合文化祭の作品展が併存する、やや統一感に欠ける展示だった。

■第6回（1990年）東川賞

海外作家賞      グラシエラ・イトウルビーデ <メキシコ>

Graciela ITURBIDE, 写真集「フチタンの女たち」に対して

国内作家賞      村井 修

MURAI Osamu, 写真集「石の記憶」に対して

新人作家賞      佐藤 時啓

SATO Tokihiro, 写真展「呼吸の陰影」他一連の作家活動に対して

特別作家賞      操上 和美

KURIGAMI Kazumi, 写真作家、広告写真家としての活動・功績に対して

■第6回審査会委員（敬称略／五十音順）

植田 正治      写真家

小池 一子      クリエイティブディレクター

重森 弘淹      写真評論家

長友 啓典      アートディレクター

奈良原一高      写真家

山口 昌男      文化人類学者

渡辺 義雄      写真家

■第6回フォトフェスタ（7/27～9/16）

テーマ「出会いと再会の輪舞」

- 写真アンデパンダン展
- はたけうたコンサート
- 水着モデル撮影会
- 東川写真塾
- 夕暮れ大撮影会ほか

■1990年のあれこれ

- フォトフェスタで開催された「はたけうたコンサート」は、絵本作家で画家の田島征三氏、シンガーソングライター小室等氏による絵本と歌とトークのコンサート。東川町では第4回東川賞で特別作家賞を受賞した竹田津実氏たけたつみのるが加わり、3氏によるトークショーなどが行われた。のちの2004年（平成16年）になるが、オホーツク管内小清水町在住だった竹田津氏は東川町へと活動拠点を移すことになる。

■第7回（1991年）東川賞

海外作家賞 ヤン・ザウデク <チェコ共和国>

Jan SAUDEK, 写真集「ヤン・ザウデクの世界」他一連の作家活動に対して

国内作家賞 荒木 経惟

ARAKI Nobuyoshi, 一連の作家活動に対して

新人作家賞 蓑田 貴子

MINODA Takako, 写真展「ダンシングミラー」「フリッカー」「フリッカー2」に対して

特別作家賞 掛川源一郎

KAKEGAWA Genichiro, 永年の作家活動に対して

■第7回審査会委員（敬称略／五十音順）

植田 正治 写真家

小池 一子 クリエイティブディレクター

重森 弘淹 写真評論家

長友 啓典 アートディレクター

奈良原一高 写真家

山口 昌男 文化人類学者

渡辺 義雄 写真家

■第7回フォトフェスタ（7/14～9/23）

テーマ「旅、そして出会い。」

- 写真アンデパンダン展
- フォトオリンピア
- 東川写真塾
- ミニコンベンション「写真による創造性開発」
- 天人峡自然観察講座

■1991年のあれこれ

- 日本写真協会賞の功労賞に、東川町が選ばれた。この賞に自治体を選ばれるのは初めて。「写真の町」に関する一連の事業が高く評価された。1991年（平成3年）5月に東京で開かれた表彰式には山田孝夫町長が出席した。
- この年から東川賞授賞式を、東川どんとこい祭り前夜祭と同じ日に開催することにした。91年は8月3日で、日中に式を終えた受賞作家や写真関係者らが大挙してパレードや花火など前夜祭の行事に参加し、町民との懇親を一層深めた。

■第8回（1992年）東川賞

海外作家賞 オリーボ・バルビエリ <イタリア>

Olivo BARBIERI, 写真集「ノト」「夜」他一連の作家活動に対して

国内作家賞 橋口 譲二

HASHIGUCHI George, 写真集「ベルリン」に対して

新人作家賞 古屋 誠一

FURUYA Seiichi, 写真集「メモワール」に対して

特別作家賞 深瀬 昌久

FUKASE Masahisa, 写真集「鴉」「家族」他一連の作家活動に対して

■第8回審査会委員（敬称略／五十音順）

植田 正治 写真家

小池 一子 クリエイティブディレクター

重森 弘淹 写真評論家

長友 啓典 アートディレクター

奈良原一高 写真家

山口 昌男 文化人類学者

渡辺 義雄 写真家

■第8回フォトフェスタ（7/11～9/20）

テーマ「帰る。」

- 写真アンデパンダン展
- ミニコンベンション「写真による生涯学習」
- 写真の町「東川百景」大募集
- 東川写真塾
- 写真の星座ほか

■1992年のあれこれ

- 東川賞受賞作家による記念植樹がこの年から始まった。
- 第8回フォトフェスタで初開催された「写真の星座」は、ゲスト写真家の作品からイメージするオリジナル曲を音楽家がつくり、写真のスライド上映とともにライブ演奏する。連続テレビ小説「あまちゃん」のテーマをのちに手掛けるギターの大友良英氏、ピアノの宝示戸亮二氏ら出演者も一流で、人気を集めた。

■第9回（1993年）東川賞

海外作家賞 ウィリアム・ヤン <オーストラリア>

William YANG, 写真集「スターティング・アゲイン」に対して

国内作家賞 高梨 豊

TAKANASHI Yutaka, 写真展「初國」並びに写真集「都の貌」等一連の東京シリーズに対して

新人作家賞 猪瀬 光

INOSE Kou, 写真展「猪瀬光 INOSE Kou 1982-92」に対して

特別作家賞 清水 武男

SHIMIZU Takeo, 写真集「北飛行」「遊飛行」に対して

■第9回審査会委員（敬称略／五十音順）

植田 正治	写真家
小池 一子	クリエイティブディレクター
長友 啓典	アートディレクター
奈良原一高	写真家
平木 収	写真評論家
山岸 享子	写真ディレクター
山口 昌男	文化人類学者
渡辺 義雄	写真家

■第9回フォトフェスタ（7/10～9/19）

テーマ「新たなる出発 STARTING AGAIN」

- 写真アンデパンダン展
- 東川写真塾
- 写真の星座93
- フォトオリンピック
- 東川いいとこ巡りツアーほか

■1993年のあれこれ

- 1993年度（平成5年度）から、従来の中川町国際写真フェスティバル実行委員会を解散し、新たに中川町「写真の町」実行委員会を組織した。「写真の町」の取り組みを、より町民参加型にしていく改革の一環。「写真の町」をめぐる一時は廃止論もあったが、中川町のまちづくりを先導する主要事業として、従来以上に力を入れていくことが確認された。

■第10回（1994年）東川賞

海外作家賞 ミッシェル・カンポウ <カナダ>

Michel CAMPEAU 写真集「鼓動」「日食と迷宮」他一連の作家活動に対して

国内作家賞 新正 卓

ARAMASA Taku, 写真集「酋長の系譜」に対して

新人作家賞 今森 光彦

IMAMORI Mitsuhiro, 写真集「スカラベ」に対して

特別作家賞 長倉 洋海

NAGAKURA Hiromi, 写真集「マソード・愛しの大地アフガン」他一連の作家活動に対して

■第10回審査会委員（敬称略／五十音順）

植田 正治	写真家
小池 一子	クリエイティブディレクター
長友 啓典	アートディレクター
奈良原一高	写真家
平木 収	写真評論家
山岸 享子	写真ディレクター
山口 昌男	文化人類学者
渡辺 義雄	写真家

■第10回フォトフェスタ（7/16～9/18）

テーマ「写真の青春」

- 第1回全国高等学校写真選手権大会
- 写真アンデパンダン展
- 東川写真塾
- 写真の星座94ほか

■1994年のあれこれ

- 1985年（昭和60年）の写真の町宣言から10年目を迎えたのを記念し、全国高等学校写真選手権大会（写真甲子園）が初開催された。また、東川賞の歴代受賞者40人の作品などを集めた記念写真集「光画録」がつくられ町内全戸に配布された。

■第11回（1995年）東川賞

海外作家賞 金 秀男 <大韓民国>

KIM Soo-Nam, 写真集「韓国のクツ（巫祭）」（全20巻、1983-93）に対して

国内作家賞 杉本 博司

SUGIMOTO Hiroshi, 一連の作家活動に対して

新人作家賞 瀬戸 正人

SETO Masato, 写真展「Living Room, Tokyo 1989-1994」に対して

特別作家賞 林田 恒夫

HAYASHIDA Tsuneo, 永年の写真作家活動に対して

■第11回審査会委員（敬称略／五十音順）

植田 正治	写真家
杉浦 康平	グラフィックデザイナー
筑紫 哲也	ジャーナリスト
長野 重一	写真家
平木 収	写真評論家
山岸 享子	写真ディレクター
奈良原一高	写真家

■第11回フォトフェスタ（7/15～9/24）

- テーマ「アジアの空の下」
- 写真アンデパンダン展
- 東川写真塾
- 写真文化フォーラム「ラトビア・写真文化の現在」
- 写真の星座95ほか

■1995年のあれこれ

- 前年の東川町「開拓100年」を記念し、1995年（平成7年）1月末から2月上旬にかけてひがしかわ国際冰雪芸術祭が開かれ、日本、米国、カナダ、フランス、ラトビアなど13カ国が参加した。各国代表が氷彫刻の技を競う国際冰雪コンテストなどがにぎやかに行われ、「写真の町」らしく冰雪芸術祭をテーマにした写真コンテストも企画された。

■第12回（1996年）東川賞

海外作家賞      ゲンドウラ・シュルツェ <ドイツ連邦共和国>

Gundula SCHULZE, 一連の作家活動に対して

国内作家賞      川田喜久治

KAWADA Kikuji, 写真展「ラスト・コスモロジー」に対して

新人作家賞      松江 泰治

MATSUE Taiji, 一連の作家活動に対して

特別作家賞      中村 征夫

NAKAMURA Ikuo, 写真集「カムイの海」に対して

■第12回審査会委員（敬称略／五十音順）

岡部あおみ	美術評論家
川田喜久治	写真家
杉浦 康平	グラフィックデザイナー
筑紫 哲也	ジャーナリスト
長野 重一	写真家
奈良原一高	写真家
平木 収	写真評論家
山岸 享子	写真ディレクター

■第12回フォトフェスタ（7/20～9/16）

テーマ「写真の宇宙」

- 写真アンデパンダン展
- 空飛写助
- 東川写真塾
- 写真の星座96ほか

■1996年のあれこれ

- 東川町の公式ホームページ（HP）の開設は1995年（平成7年）7月。道内では千歳市に次いで早く、「写真の町」のPRにも活用した。96年7月には「サイバーフォトギャラリー空飛写助」を町のHP上に開設。9月までのアクセス数が5800回に達し、うち1割ほどは海外からだった。また、ファクスでメッセージなどを募集する「ファクシミリフォトレター霧隠才能」も実施した。

■第13回（1997年）東川賞

海外作家賞 カラム・コルヴィン <イギリス>

Calum COLVIN, 一連の作家活動に対して

国内作家賞 野町 和嘉

NOMACHI Kazuyoshi, 写真集「SAHARA サハラ20年」に対して

新人作家賞 金村 修

KANEMURA Osamu, 一連の作家活動に対して

特別作家賞 齋藤 亮一

SAITO Ryoichi, 写真集「NOSTALGIA」に対して

■第13回審査会委員（敬称略／五十音順）

岡部あおみ	美術評論家
川田喜久治	写真家
杉浦 康平	グラフィックデザイナー
筑紫 哲也	ジャーナリスト
長野 重一	写真家
奈良原一高	写真家
平木 収	写真評論家
山岸 享子	写真ディレクター

■第13回フォトフェスタ（7/29～9/15）

テーマ「写真の誕生」

- 写真アンデパンダン展
- 空飛写助
- 東川写真塾
- 写真の星座97ほか

■1997年のあれこれ

- プロの写真家で作る公益社団法人日本広告写真家協会（APA）は1997年（平成9年）6月、東川町農村環境改善センターで通常総会を開き、全国から会員ら約300人が集まった。道内での総会開催は初めて。APAの写真家が町内の児童、生徒を撮影した写真展「『写真の町』の子供たち」も、総会に合わせて町文化ギャラリーで開かれた。
- 写真甲子園本戦大会出場選手の男女比が逆転した。当初は男子が多かったが、97年からは女子が多くなった。またインターネットによる写真甲子園のライブ中継が初めて行われた。

■第14回（1998年）東川賞

海外作家賞 アンソニー・ヘルナンデス <アメリカ合衆国>

Anthony HERNANDEZ, 写真集「Landscapes for the Homeless」他一連の作家活動に対して

国内作家賞 管 洋志

SUGA Hiroshi, 写真集「ミャンマー黄金」他一連の作家活動に対して

新人作家賞 細川 剛

HOSOKAWA Takeshi, 写真集「森案内」に対して

特別作家賞 津山 正順

TSUYAMA Shojun, 写真集「檜山民族建築照相譜」及び「檜山社寺建築照相譜」に対して

■第14回審査会委員（敬称略／五十音順）

岡部あおみ	美術評論家
川田喜久治	写真家
杉浦 康平	グラフィックデザイナー
筑紫 哲也	ジャーナリスト
長野 重一	写真家
平木 収	写真評論家
山岸 享子	写真ディレクター

■第14回フォトフェスタ（7/28～9/15）

テーマ「光の地図」

- 写真アンデパンダン展
- 空飛写助
- 東川写真塾
- マルチスライドショー「ミャンマー黄金」
- 写真の星座98ほか

■1998年のあれこれ

- 東川町文化ギャラリーで1998年（平成10年）4～6月、東川賞の常設作品展が初めて開かれた。東川賞も前年までの受賞者が52人に上り、寄贈された作品も878点に達していた。年ごとの受賞作家作品展は毎年のフォトフェスタ期間中に行っているが、過去に寄贈された作品の常設展も毎年春と秋の2回開くことにした。

■第15回（1999年）東川賞

海外作家賞 クラウディオ・エディンガー <ブラジル>

Claudio EDINGER, 写真集「CARNAVAL（カルナバル）」に対して

国内作家賞 石内 都

ISHIUCHI Miyako, 写真集「1・9・4・7」から写真展「SCARS」に至る一連の作家活動に対して

新人作家賞 やなぎみわ

YANAGI Miwa, 一連の作家活動に対して

特別作家賞 高田 邦彦

TAKADA Kunihiko, 写真展「結晶-雪-」「雪洞」に対して

■第15回審査会委員（敬称略／五十音順）

岡部あおみ 美術評論家

川田喜久治 写真家

杉浦 康平 グラフィックデザイナー

筑紫 哲也 ジャーナリスト

長野 重一 写真家

平木 収 写真評論家

山岸 享子 写真ディレクター

■第15回フォトフェスタ（7/27～9/15）

テーマ「光の図鑑」

- 写真アンデパンダン展
- 空飛写助
- 東川写真塾
- 筑紫哲也氏講演会「21世紀への伝言」
- キャパOB会撮影会ほか

■1999年のあれこれ

- 日本写真家協会（JPS）の第25回日本写真家協会賞に、東川町が選ばれた。自治体の受賞は初めて。「写真の町」の取り組みを通じた写真創作活動への支援や、写真文化発展への貢献が高く評価された。1999年（平成11年）12月、東京で開かれた贈呈式には山田孝夫町長が出席した。さらに99年度北海道地域文化選奨の特別賞に、東川町「写真の町」実行委員会が選ばれた。写真を核に個性的なまちづくりを続けていることが評価された。

■第16回（2000年）東川賞

海外作家賞      チェマ・マドウス <スペイン>

Chema MADOZ, 写真集「オブジェ」に至る一連の作家活動に対して

国内作家賞      畠山 直哉

HATAKEYAMA Naoya, 作品「アンダーグラウンド」にいたる一連の作家活動に対して

新人作家賞      野村 恵子

NOMURA Keiko, 写真集「ディープ・サウス」に対して

特別作家賞      窪田 正克

KUBOTA Masakatu, 写真集「知床」「ヒグマ」にいたる一連の作家活動に対して

■第16回審査会委員（敬称略／五十音順）

岡部あおみ      美術評論家

川田喜久治      写真家

佐藤 時啓      写真家

杉浦 康平      グラフィックデザイナー

筑紫 哲也      ジャーナリスト

長野 重一      写真家

平木 収      写真評論家

山岸 享子      写真ディレクター

■第16回フォトフェスタ（7/25～9/10）

テーマ「光は躍る」

- 写真アンデパンダン展
- 空飛写助
- 東川写真塾
- ストリートギャラリー2000
- 写真の星座2000ほか

■2000年のあれこれ

- 2000年（平成12年）の東川どんとこい祭り前夜祭では「1000枚の町民写真大撮影会」として、レンズ付きフィルムを持った東川賞の受賞作家や審査委員らが会場でスナップ写真を撮影。作品は後日、役場ロビーに展示されて写っている町民らにプレゼントされた。町民から大いに喜ばれるとともに「写真の町」への理解を深めてもらうことにつながった。

■第17回（2001年）東川賞

海外作家賞      アンドリュース・グランツ <ラトビア共和国>

Andrejs GRANTS, 「Latvia, Canging and Unchanging Reality / ラトビア・移ろいとたたずみ」に対して

国内作家賞      細江 英公

HOSOE Eikoh, 一連の作家活動に対して

新人作家賞      オノデラユキ

ONODERA Yuki, 一連の作家活動に対して

特別作家賞      飛弾野数右衛門

HIDANO Kazuemon, 写真展「昭和の東川」他、永年の作家活動に対して

■第17回審査会委員（敬称略／五十音順）

岡部あおみ      美術評論家

佐藤 時啓      写真家

杉浦 康平      グラフィックデザイナー

筑紫 哲也      ジャーナリスト

長野 重一      写真家

平木 収      写真評論家

山岸 享子      写真ディレクター

■第17回フォトフェスタ（7/24～9/9）

テーマ「光の世紀」

- 写真アンデパンダン展
- 空飛写助
- 東川写真塾
- ストリートギャラリー2001
- 写真の星座2001ほか

■2001年のあれこれ

- 町外から「写真の町」の取り組みを応援する、ひがしかわ写真の町倶楽部が設立された。フォトフェスタや写真甲子園などを通じて東川町に関心を持ってくれた人を対象に会員を募り、交流会の開催や会報の発送などを行った。2001年（平成13年）6月、東川町内で開かれた設立総会では、当初の会員数が121人に上ったことが報告された。09年まで活動した。

■第18回（2002年）東川賞

海外作家賞 エドウィン・ズワックマン〈オランダ〉

Edwin ZWAKMAN, シリーズ「ファサード」に至る一連の作家活動に対して

国内作家賞 森村 泰昌

MORIMURA Yasumasa, 作品展「私の中のフリーダ/ 森村泰昌のセルフポートレイト」に至る一連の作家活動に対して

新人作家賞 尾仲 浩二

ONAKA Koji, シリーズ「背高あわだち草」から写真集「ヒステリックファイブ」に至る一連の作家活動に対して

特別作家賞 風間 健介

KAZAMA Kensuke, 夕張炭坑遺跡にかかわる一連の作品に対して

■第18回審査会委員（敬称略／五十音順）

岡部あおみ 美術評論家

佐藤 時啓 写真家

杉浦 康平 グラフィックデザイナー

筑紫 哲也 ジャーナリスト

長野 重一 写真家

平木 収 写真評論家

山岸 享子 写真ディレクター

■第18回フォトフェスタ（7/27～9/15）

テーマ「光の楽園」

- 写真アンデパンダン展
- 空飛写助
- 東川写真塾
- 写真の星座2002ほか

■2002年のあれこれ

- 韓国東北部の景勝地として知られる寧越郡で2002年（平成14年）7月、写真の祭典「東江写真フェスティバル」が始まった。1995年（平成7年）の東川賞で韓国の写真家が海外作家賞を受賞したのを機に、来町した関係者が2001年に「写真の里」を宣言するなど、準備を進めていた。のちの2010年（平成22年）には東川町と寧越郡が文化交流協定を締結した。

■第19回（2003年）東川賞

海外作家賞      ガイ・ティリム <南アフリカ共和国>

Guy TILLIM, 写真集「Departure（出発）」に対して

国内作家賞      齋藤 亮一

SAITO Ryoichi, 写真展「Lost China」に対して

新人作家賞      糸崎 公朗

ITOZAKI Kimio, 「フォトモ」他一連の作家活動に対して

特別作家賞      吉田ルイ子

YOSHIDA Ruiko, 写真集「華齡な女たち」に対して

■第19回審査会委員（敬称略／五十音順）

岡部あおみ      美術評論家

佐藤 時啓      写真家

杉浦 康平      グラフィックデザイナー

筑紫 哲也      ジャーナリスト

長野 重一      写真家

平木 収      写真評論家

山岸 享子      写真ディレクター

■第19回フォトフェスタ（8/2～8/31）

テーマ「歩く。走る。たたずむ。」

- 写真アンデパンダン展
- 空飛写助
- 夏休み自由研究「ピンホールカメラ探検隊」
- 写真の星座「東川の達人たち」ほか

■2003年のあれこれ

- 写真甲子園が第10回を迎えたことを記念して、写真甲子園実行委員会は過去の出場選手による同窓会を設立した。2003年（平成15年）7月末に開かれた初の同窓会には全国から24人が参加。プロ写真家を目指している人もおり、再会を喜び合った。
- フォトフェスタ恒例だった写真の星座で「東川の達人たち」という新しい試みが行われた。ひがしかわ写真の町倶楽部会員の写真家有志が、農業や木工、氷彫刻、菓子、豆腐など町内の「達人」を撮影し、ジャズピアニスト板橋文夫氏の即興演奏とともにスライド上映した。

■第20回（2004年）東川賞

海外作家賞      アントワーヌ・ダガタ <フランス>

Antoine d'Agata, 写真集「INSOMNIA（不眠症）」に対して

国内作家賞      中川 幸夫

NAKAGAWA Yukio, 写真集「魔の山」に至る写真を用いた一連の作家活動に対して

新人作家賞      藤部 明子

TOBU Akiko, 写真集「The Hotel Upstairs/ホテル・アップステアーズ」に対して

特別作家賞      倉沢 栄一

KURASAWA Eiichi, 写真集「日本の海大百科」他一連の作家活動に対して

■第20回審査会委員（敬称略／五十音順）

岡部あおみ      美術評論家

佐藤 時啓      写真家

杉浦 康平      グラフィックデザイナー

筑紫 哲也      ジャーナリスト

長野 重一      写真家

平木 収      写真評論家

山岸 享子      写真ディレクター

■第20回フォトフェスタ（7/26～9/8）

テーマ「いきる、いかす、いのち。」

- 写真の町20年感謝の集い
- 写真インディペンデンス展
- 空飛写助
- 東川写真塾
- 写真の星座2004ほか

■2004年のあれこれ

- 東川賞の国内作家賞が話題を集めた。いわゆる写真家ではなく、著名いけばな作家の中川幸夫氏が選ばれたためだ。中川氏は若いころ、土門拳氏の助手を務めた経験があるなど写真への造詣が深く、生け花作品の多くを自身で撮影していた。東川賞の審査会でも「（自身が築いた）生け花の概念を、自分の写真で180度ひっくり返している」などと激賞された。
- 東川自由フォーラムのメイン写真展「写真アンデパンダン展」が2004年から「写真インディペンデンス展」に改称した。仏語読みを英語読みにした。

■第21回（2005年）東川賞

海外作家賞 金 寧万 <大韓民国>

Kim Nyung-man, 写真集「激動20年」に対して

国内作家賞 小山穂太郎

KOYAMA Hotaro, 写真展「ファントム」に至る一連の作家活動に対して

新人作家賞 小檜山賢二

KOHIYAMA Kenji, 写真展「昆虫：ミクロ・リアリズム」に対して

特別作家賞 鈴木 涼子

SUZUKI Ryoko, 一連の作家活動に対して

■第21回審査会委員（敬称略／五十音順）

岡部あおみ 美術評論家

佐藤 時啓 写真家

杉浦 康平 グラフィックデザイナー

筑紫 哲也 ジャーナリスト

長野 重一 写真家

平木 収 写真評論家

山岸 享子 写真ディレクター

■第21回フォトフェスタ（7/26～8/30）

テーマ「出会い、記録と記憶」

- 写真インディペンデンス展
- 空飛写助
- 写真と音楽のコラボレーション
- ファーム・ギャラリー展ほか

■2005年のあれこれ

- 1985年（昭和60年）の写真の町宣言以来、町から長年「写真の町」関連事業を受託してきた企画会社（札幌）が2005年（平成17年）に倒産。フォトフェスタや写真甲子園など各種事業の企画、調整、運営を町が自前で行わなければならなくなった。町には大きな負担になったが、半面、町の職員が民間企業や写真家、メディアなどと直接折衝することになり、町と民間との関係や人脈が大きく広げることにつながった。
- 写真甲子園の使用機材を変更。前年までのフィルムカメラからデジタルカメラへ。

■第22回（2006年）東川賞

海外作家賞 ケタキ・シェス <インド>

Ketaki Sheth, 作品「ボンベイMix」に対して

国内作家賞 鈴木 理策

SUZUKI Risaku, 作品「KUMANO」「SAKURA」「Mont Sainte Victoire」に対して

新人作家賞 安楽寺えみ

ANRAKUJI Emi, 1998-2005年に制作された自家版写真集と作品に対して

特別作家賞 綿谷 修

WATAYA Osamu, 作品「Agenda」「昼顔」に対して

■第22回審査会委員（敬称略／五十音順）

岡部あおみ 美術評論家

佐藤 時啓 写真家

杉浦 康平 グラフィックデザイナー

筑紫 哲也 ジャーナリスト

長野 重一 写真家

平木 収 写真評論家

山岸 享子 写真ディレクター

■第22回フォトフェスタ（7/25～8/27）

テーマ「写真。深化と広がり。」

- 写真インディペンデンス展
- 空飛写助
- 東川ストリートギャラリー2006
- 思い出写真館NIJI（にじ）ほか

■2006年のあれこれ

- フォトフェスタで2006年（平成18年）、思い出写真館「NIJI（にじ）」と東川ストリートギャラリーが初開催された。NIJIは写真甲子園のOG・OBらが、フォトフェスタに訪れた家族や恋人、友人との思い出を写真に撮ってプレゼントする。ストリートギャラリーは学生をはじめ、世代やジャンル、経験を問わず集まった写真を愛する人たちによるストリート作品展。いずれも人気企画としてその後も続いた。

■第23回（2007年）東川賞

海外作家賞 マニット・スリワニチプーン<タイ>

Manit SRIWANICHPOOM, シリーズ「ピンク・マン」、「ブラック&ホワイト・バンコク」、  
「イン・ユア・フェイス」等の作品制作に対して

国内作家賞 杉浦 邦恵

SUGIURA Kunie, フォトグラムによる一連の作品制作に対して

新人作家賞 今岡 昌子

IMAOKA Masako, 「リ・バース」、「天山南路」の作品制作に対して

特別作家賞 山田 博之

YAMADA Hiroyuki, 「ロマンス」、「残雪」の作品制作に対して

■第23回審査会委員（敬称略／五十音順）

岡部あおみ	美術評論家
笠原美智子	写真評論家
佐藤 時啓	写真家
杉浦 康平	グラフィックデザイナー
筑紫 哲也	ジャーナリスト
野町 和嘉	写真家
平木 収	写真評論家
山岸 享子	写真ディレクター

■第23回フォトフェスタ（7/24～8/28）

テーマ「彼方（ルビ：かな た）へのまなざし」

- 写真インディペンデンス展
- 東川ストリートギャラリー2007
- 思い出写真館NIJI（にじ）
- ファーム・ギャラリー展ほか

■2007年のあれこれ

- 2007年度（平成19年度）、写真甲子園が高校「美術B」の教科書（光村図書出版）で取り上げられた。また写真甲子園をテーマにした漫画「写真の神様」（作画・岡井ハルコ、原作・山崎由美）が講談社から出版された。写真甲子園をテーマにした漫画としては、のちの2019年（令和元年）に小学館から出版された「写真甲子園 シャッターガール」（作画・MUGENUP、原作・桐木憲一）などもある。

■第24回（2008年）東川賞

海外作家賞 クラウス・ミッテルドルフ<ブラジル>

Klaus MITTELDORF, 「THE LAST CRY」1998、「INTROVISION」2006 作品制作に対して

国内作家賞 檜橋 朝子

NARAHASHI Asako, 「half awake and half asleep in the water」作品制作に対して

新人作家賞 澤田 知子

SAWADA Tomoko, 「ID400」以降の一連の作品制作に対して

特別作家賞 小畑 雄嗣

OBATA Yuji, 「二月」(Wintertale) 作品制作に対して

■第24回審査会委員（敬称略／五十音順）

浅葉 克己	デザイナー
岡部あおみ	美術評論家
笠原美智子	写真評論家
佐藤 時啓	写真家
野町 和嘉	写真家
平野啓一郎	作家
山岸 享子	写真ディレクター

■第24回フォトフェスタ（7/29～9/2）

テーマ「幻影と、その創造性」

- 写真インディペンデンス展
- 東川ストリートギャラリー2008
- 思い出写真館NIJI（にじ）
- こども写真塾作品展ほか

■2008年のあれこれ

- 東川町の機構改革で2008年度（平成20年度）、写真の町課が新設された。フォトフェスタや写真甲子園など「写真の町」に関する事業全般を担当する。全国的にも珍しい、東川らしい部局の誕生だった。
- 写真甲子園の出場選手らが初めて町内でホームステイした。例年、キトウシ森林公園内のキャビンに宿泊するが、08年は来町したその日に、出場14校の選手と監督計54人が町内14の民家に分宿した。受け入れ家庭、生徒らともに好評で以後、初日のホームステイが恒例になった。

■第25回（2009年）東川賞

海外作家賞 アン・フェラン<オーストラリア>

Anne FERRAN, 一連の作家活動に対して

国内作家賞 柴田 敏雄

SHIBATA Toshio, 写真展「ランドスケープ」及び一連の作家活動に対して

新人作家賞 石川 直樹

ISHIKAWA Naoki, 「New Dimension」以降の一連の作品制作に対して

特別作家賞 露口 啓二

TSUYUGUCHI Keiji, 北海道のアイヌ語地名をテーマとした一連の作品制作に対して

■第25回審査会委員（敬称略／五十音順）

浅葉 克己 デザイナー

岡部あおみ 美術評論家

笠原美智子 写真評論家

楠本 亜紀 写真評論家

佐藤 時啓 写真家

野町 和嘉 写真家

平野啓一郎 作家

山崎 博 写真家

■第25回フォトフェスタ（7/28～9/6）

- 森の写真展「えぞ王国」野外展
- 写真インディペンデンス展
- 東川ストリートギャラリー2009
- 思い出写真館NIJI（にじ）ほか

■2009年のあれこれ

- フォトフェスタの森の写真展「えぞ王国」野外展は、「写真の町」が25年目を迎えたことを記念する企画。町内在住の写真家竹田津実氏が撮影した動物の写真を約200枚も用意し6月～9月、キトウシ森林公園の遊歩道沿い約1.2kmに、まるでそこに動物がいるかのように工夫して展示した。
- 一般財団法人地域活性化センターの第13回ふるさとイベント大賞で、写真甲子園が大賞に次ぐ優秀賞に選ばれた。「地域イメージや知名度が飛躍的に向上した」などと評価された。続いて2009年度（平成21年度）文化庁長官表彰（文化芸術創造都市部門）に東川町が選ばれた。写真という文化活動を地域活性化につなげたことなどが評価された。

■第26回（2010年）東川賞

海外作家賞 陳 敬寶〈台湾〉

Chin-pao CHEN, 一連の作家活動に対して

国内作家賞 北島 敬三

KITAJIMA Keizo, 写真展「北島敬三1975-1991」（東京都美術館、2009）及び一連の作家活動に対して

新人作家賞 オサム・ジェームス・中川

Osamu James NAKAGAWA, 「バンタ：中川治ジェームス展覧会」（佐喜眞美術館、2009）、写真展「Banta: 沁みついた記憶」（銀座ニコンサロン、2010）に対して

特別作家賞 萩原 義弘

HAGIWARA Yoshihiro, 写真集「snowy」（冬青社、2008）及び夕張定点観測の作品に対して

飛弾野数右衛門賞 小島 一郎

KOJIMA Ichiro, 青森を拠点とした一連の作家活動に対して

■第26回審査会委員（敬称略／五十音順）

浅葉 克己 デザイナー

岡部あおみ 美術評論家

笠原美智子 写真評論家

楠本 亜紀 写真評論家

佐藤 時啓 写真家

野町 和嘉 写真家

平野啓一郎 作家

山崎 博 写真家

■第26回フォトフェスタ（7/27～9/6）

- 写真インディペンデンス展
- 東川ストリートギャラリー2010
- 思い出写真館NIJI（にじ）
- ファーム・ギャラリー展ほか

■2010年のあれこれ

- 「写真の町」25周年を記念して、東川賞の正式名称を「写真の町東川賞」に改めるとともに飛弾野数右衛門賞を新設した。賞金も見直し、海外作家賞と国内作家賞は各100万円、新人作家賞、特別作家賞は各50万円にそれぞれ増額した。飛弾野数右衛門賞も50万円とした。

■第27回（2011年）東川賞

海外作家賞 ペーター・ドレスラー <オーストリア>

Peter DRESSLER, 一連の作家活動に対して

国内作家賞 オノデラ ユキ

ONODERA Yuki, 一連の作家活動に対して

新人作家賞 北野 謙

KITANO Ken, 「our face」プロジェクト及び写真集「溶游する都市」（MEM、2009）に対して

特別作家賞 奥田 實

OKUDA Minoru, 作品集「生命樹」（新樹社、2010）に対して

飛弾野数右衛門賞 百々 俊二

DODO Shunji, 写真集「大阪」（青幻社、2010）及び長年の地域における写真教育への貢献に対して

■第27回審査会委員（敬称略／五十音順）

浅葉 克己 デザイナー

笠原美智子 写真評論家

楠本 亜紀 写真評論家

佐藤 時啓 写真家

野町 和嘉 写真家

平野啓一郎 作家

光田 由里 美術評論家

山崎 博 写真家

■第27回フォトフェスタ（7/26～9/5）

- ・東日本大震災復興応援プロジェクト写真展
- ・写真インディペンデンス展
- ・東川ストリートギャラリー2011
- ・ファーム・ギャラリー展ほか

■2011年のあれこれ

- ・2011年（平成23年）3月の東日本大震災と東京電力福島第一原発事故を受け、写真甲子園本戦大会枠に「がんばれ東北枠」を設けた。また津波で被災した高校対象に、「被災高校写真部支援プロジェクト」としてカメラやパソコン、プリンターなどをプレゼントした。
- ・東川町は2011年度、写真の町担当の学芸員1人を正職員として採用した。大阪市出身で05年の写真甲子園本戦大会出場経験者。写真甲子園OG・OBの職員採用は初めて。

■第28回（2012年）東川賞

海外作家賞      アリフ・アシュジュ<トルコ>

Arif Aşçi, イスタンブールを撮影した一連の写真制作に対して

国内作家賞      松江 泰治

MATSUE Taiji, 一連の作家活動に対して

新人作家賞      志賀理江子

SHIGA Lieko, 2009年からの宮城県名取市での活動及び一連の作家活動に対して

特別作家賞      宇井真紀子

UI Makiko, 写真展・写真集「アイヌ、風の肖像」（新泉社、2011）及びアイヌ民族を取材した一連の作家活動に対して

飛弾野数右衛門賞      南 良和

MINAMI Yoshikazu, 郷土の秩父を長年にわたり撮影し続けてきた活動に対して

■第28回審査会委員（敬称略／五十音順）

浅葉 克己      デザイナー

笠原美智子      写真評論家

楠本 亜紀      写真評論家

佐藤 時啓      写真家

野町 和嘉      写真家

平野啓一郎      作家

光田 由里      美術評論家

山崎 博      写真家

■第28回フォトフェスタ（7/24～9/4）

- 写真インディペンデンス展
- 東川ストリートギャラリー2012
- LOST&FIND PROJECT
- 思い出写真館NIJI（にじ）ほか

■2012年のあれこれ

- 2012年（平成24年）4月、アウトドア用品大手モンベル（大阪）の大雪ひがしかわ店がオープンした。登山家でもある辰野勇モンベル会長は05年（平成17年）のフォトフェスタに招かれ講演したことがあり、町民からの出店要請も踏まえ、出店を決めたという。「写真の町」が著名企業の誘致につながった。

■第29回（2013年）東川賞

海外作家賞 ミンストレル・キュイク・チン・チャー〈マレーシア〉

Minstrel Kuik Ching Chieh, 作品プロジェクト「Mer.rily Mer.rily Mer.rily Mer.rily」にいたる一連の作家活動に対して

国内作家賞 川内 倫子

KAWAUCHI Rinko, 「照度 あめつち 影を見る」展（東京都写真美術館、2012年）及び一連の作家活動に対して

新人作家賞 初沢 亜利

HATSUZAWA Ari, 写真集『隣人。38度線の北』（徳間書店、2012年）及び『True Feelings-爪痕の真情。2011.3.12～2012.3.11』（三栄書房、2012年）に対して

特別作家賞 中藤 毅彦

NAKAFUJI Takehiko, 写真集・写真展『Sakuan, Matapaan - Hokkaido』（Zen Photo Gallery、2013年）に対して

飛弾野数右衛門賞 山田 實

YAMADA Minoru, 『山田實写真集 故郷は戦場だった』（未来社、2012年）、写真展「山田實展 人と時の往来—写真でつづるオキナワ」沖縄県立博物館・美術館、2012年）及び郷土の沖縄を長年にわたり撮影し続けてきた活動に対して

■第29回審査会委員（敬称略／五十音順）

浅葉 克己	デザイナー
笠原美智子	写真評論家
楠本 亜紀	写真評論家
佐藤 時啓	写真家
野町 和嘉	写真家
平野啓一郎	作家
光田 由里	美術評論家
山崎 博	写真家

■第29回フォトフェスタ（8/6～9/4）

- 写真インディペンデンス展
- 東川ストリートギャラリー2013
- 思い出写真館NIJI（にじ）ほか

■2013年のあれこれ

- 写真の町ひがしかわ写真少年団が発足した。2013年5月の結成記念撮影会では小中学生14人が羽衣公園で撮影を楽しんだ。翌14年には文化ギャラリーで初の写真展も開いた。

■第30回（2014年）東川賞

海外作家賞 ヨルマ・プラーネン<フィンランド>

Jorma PURANEN, 「Icy Prospects」他、一連の作家活動に対して

国内作家賞 野口 里佳

NOGUCHI Rika, 写真展「光は未来に届く」（Izu Photo Museum、2012年）及び一連の作家活動に対して

新人作家賞 石塚元太良

ISHIZUKA Gentaro, 写真集『PIPELINE ICELAND/ALASKA』（euphoria FACTORY/講談社、2013年）に対して

特別作家賞 酒井 広司

SAKAI Koji「偶景」シリーズに至る北海道を撮影した一連の作品に対して

飛弾野数右衛門賞 増山たづ子

MASUYAMA Tazuko, ダムに沈む徳山村を撮影した一連の活動に対して

■第30回審査会委員（敬称略／五十音順）

浅葉 克己 デザイナー

笠原美智子 写真評論家

楠本 亜紀 写真評論家

佐藤 時啓 写真家

野町 和嘉 写真家

平野啓一郎 作家

光田 由里 美術評論家

山崎 博 写真家

■第30回フォトフェスタ（8/5～9/3）

- 写真インディペンデンス展
- 「未来に伝えたい東川」写真展
- 東川アーティスト・イン・レジデンス
- パリデビューチャレンジ2014ほか

■2014年のあれこれ

- 「写真の町」の取り組みが30年目を迎えた2014年（平成26年）3月、東川町は「写真文化首都」を宣言。記念に町民から公募した336作品などからなる写真集「未来に伝えたい東川」を町内全戸に配布し、東川賞収蔵作品の公開をホームページで始めた。
- 写真甲子園にタイと台湾から高校生がオープン参加した。海外からの参加は初めてで、翌15年からの高校生国際交流写真フェスティバル（ユースフェス）開催につながった。

■第31回（2015年）東川賞

海外作家賞 アン・ノーブル<ニュージーランド>

Anne NOBLE, 写真集「The Last Road」(Clouds、2014) 他、一連の作家活動に対して

国内作家賞 佐藤 時啓

SATO Tokihiro, 写真展「光一呼吸」(東京都写真美術館、2014年) 及び一連の作家活動に対して

新人作家賞 春木麻衣子

HARUKI Maiko, 写真展「みることについての展開図」(taro nasu gallery、2014年) に至る一連の作家活動に対して

特別作家賞 吉村 和敏

YOSHIMURA Kazutoshi, 写真集「CEMENT」(ノストロ・ボスコ、2010年) に対して

飛弾野数右衛門賞 福島菊次郎

FUKUSHIMA Kikujiro, 郷土の瀬戸内を出発点とし、広島の前爆問題を皮切りに、戦後日本の問題を一貫して撮り続けた活動に対して

■第31回審査会委員（敬称略／五十音順）

浅葉 克己 デザイナー

上野 修 写真評論家

笠原美智子 写真評論家

楠本 亜紀 写真評論家

野町 和嘉 写真家

平野啓一郎 作家

光田 由里 美術評論家

山崎 博 写真家

■第31回フォトフェスタ（8/4～9/2）

- 写真インディペンデンス展
- パリデビューチャレンジ2015
- 東川ストリートギャラリー2015ほか

■2015年のあれこれ

- フォトフェスタのパリデビューチャレンジは、2年に一度開催される「パリ写真月間」に出展する作品を選ぶ公開審査会。意欲的な写真家にパリ進出の機会を与えようとプロ、アマ問わず広く作品を公募し、2014年（平成26年）、15年の2年間行われた。
- 東川アーティスト・イン・レジデンスも14年から始まった。フォトふれ経験者が1カ月以上も町内に滞在して作品を制作し、フォトフェスタで発表する。以後、恒例になった。

■第32回（2016年）東川賞

海外作家賞 オスカー・ムニョス<コロンビア>

Oscar Muñoz, 展覧会「Protographs」(Jeu de paume、2014年、パリ他)及び一連の作家活動  
に対して

国内作家賞 広川 泰士

HIROKAWA Taishi, 写真集「BABEL-ORDINARY LANDSCAPES-」(赤々舎、2015年)及び一連の作  
家活動に対して

新人作家賞 池田 葉子

IKEDA Yoko, 写真集「Monkey Puzzle」(Nazraeli Press、2015年)に対して

特別作家賞 マイケル・ケンナ

Michael Kenna, 北海道を撮影した一連の写真に対して

飛弾野数右衛門賞 池本 喜巳

IKEMOTO Yoshimi, 「近世店屋考」シリーズなど、鳥取を中心とした山陰地方の風物を長年撮影し  
続けてきた功績に対して

■第32回審査会委員（敬称略／五十音順）

浅葉 克己 デザイナー

上野 修 写真評論家

笠原美智子 写真評論家

楠本 亜紀 写真評論家

野町 和嘉 写真家

平野啓一郎 作家

光田 由里 美術評論家

山崎 博 写真家

■第32回フォトフェスタ（7/26～8/31）

- 写真インディペンデンス展
- 東川アーティスト・イン・レジデンス
- 写真と音楽のコラボレーション
- 思い出写真館NIJI（にじ）ほか

■2016年のあれこれ

- 2016年（平成28年）の写真甲子園は4月の熊本地震を受け、熊本県の高校を特別に招いた。7月26日開会の本戦大会には八代白百合学園（熊本県）を含む計19校が出場した。
- 16年7月、後に「写真甲子園 0.5秒の夏」と名付けられる映画のロケが町内でクランクインした。菅原浩志監督のもと、町民も多数エキストラとして出演した。

■第33回（2017年）東川賞

海外作家賞 アンナ・オルオーヴスカ<ポーランド>

Anna Orłowska, 「Case study: invisibility」(2012-14) ほか、一連の作品に対して

国内作家賞 本橋 成一

MOTOHASHI Seichi, 写真展「在り処」(IZU PHOTO MUSEUM,2016年) 及び一連の作家活動に対して

新人作家賞 野村佐紀子

NOMURA Sakiko, 写真集「もうひとつの黒闇 Another Black Darkness」(Akio Nagasawa Publishing,2016年) 及び一連の作家活動に対して

特別作家賞 岡田 敦

OKADA Atsushi, シリーズ「ユルリ島の野生馬」及び写真集「1999」(ナガトモ、2015年) に対して

飛弾野数右衛門賞 小関与四郎

KOSEKI Yoshiro, 写真集「九十九里浜」(春風社、2004年) ほか、郷土・千葉に根差した社会事象、風物を長年にわたり撮影し続けてきた活動に対して

■第33回審査会委員（敬称略／五十音順）

浅葉 克己 デザイナー

上野 修 写真評論家

北野 謙 写真家

楠本 亜紀 写真評論家

丹羽 晴美 写真評論家

中村 征夫 写真家

平野啓一郎 作家

光田 由里 美術評論家

■第33回フォトフェスタ（7/25～8/30）

- 写真インディペンデンス展
- 東川アーティスト・イン・レジデンス
- 東川ストリートギャラリー2017
- 写真甲子園審査委員写真展ほか

■2017年のあれこれ

- 映画「写真甲子園 0.5秒の夏」が2017年（平成29年）11月、全国で公開された。公開に先駆け、主題歌を担当した大黒摩季氏のライブが7月29日のひがしかわどんとこい祭り前夜祭に合わせて行われ、羽衣公園に空前の約1万人が集まった。

■第34回（2018年）東川賞

海外作家賞      マリアン・ペナー・バンクロフト<カナダ・バンクーバー>

Marian Penner BANCROFT, 「radial systems」 (2017) シリーズほか一連の作品に対して

国内作家賞      潮田登久子

USHIODA Tokuko, 「本の景色／BIBLIOTHECAシリーズ」 (ウシマオダ／幻戯書房、2016-17年) に関する一連の発表に対して

新人作家賞      吉野英理香

YOSHINO Erika, 写真集『NEROLI』 (赤々舎、2016年) 及び、「無垢と経験の写真 日本の新進作家 vol. 14」展 (東京都写真美術館、2017-18年) 出品作に対して

特別作家賞      大橋 英児

OHASHI Eiji, 「Roadside Lights」シリーズ (2010-) 及び「Being There」シリーズ (2008-) に対して

飛弾野数右衛門賞      富岡 畦草

TOMIOKA Keiso, 写真集『変貌する都市の記録』 (白揚社、2017年) ほか、東京を定点観測で撮影し続けてきた活動に対して

■第34回審査会委員 (敬称略／五十音順)

上野 修      写真評論家

北野 謙      写真家

楠本 亜紀      写真評論家

柴崎 友香      小説家

丹羽 晴美      写真評論家

中村 征夫      写真家

原 耕一      アートディレクター

光田 由里      美術評論家

■第34回フォトフェスタ (7/31~8/29)

- 写真インディペンデンス展
- 東川アーティスト・イン・レジデンス
- 東川フォトミーティングプレイスほか

■2018年のあれこれ

- 東川町は映画「写真甲子園 0.5秒の夏」の英語、ロシア語など各国語による字幕版をつくった。町の国際交流員 (CIR) らが翻訳を担当した。2018年 (平成30年) 6月には海外上映の第1号として、ロシア・サハリ州ユジノサハリンスクで上映会を開いた。

■第35回（2019年）東川賞

海外作家賞      ローズマリー・ラング<オーストラリア>

Rosemary LAING, 「weather」（2006）、「leak」（2010）、「Buddens」（2017）シリーズほか一連の作品に対して

国内作家賞      志賀理江子

SHIGA Lieko, 展覧会「ブラインドデート」（丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、2017年）、作品集『ブラインドデート』（T&M Projects、2017年）ほか一連の作品に対して

新人作家賞      片山 真理

KATAYAMA Mari, 展覧会「帰途」（群馬県立近代美術館、2017年）及び、「無垢と経験の写真日本の新進作家 vol. 14」展（東京都写真美術館、2017-18年）出品作ほか一連の作品に対して

特別作家賞      奥山 淳志

OKUYAMA Atsushi, 写真集『弁造』（私家版、2018年）及び写真展「庭とエスキース」（銀座、大阪ニコンサロン、2018年）に対して

飛弾野数右衛門賞      太田 順一

OTA Junichi, 写真集『ひがた記』（海風社、2018年）、『無常の菅原商店街』（ブレーンセンター、2015年）、『群集のまち』（ブレーンセンター、2007年）ほか、関西地方を撮影し続けてきた作品に対して

■第35回審査会委員（敬称略／五十音順）

上野 修	写真評論家
北野 謙	写真家
倉石 信乃	写真批評家・詩人
柴崎 友香	小説家
丹羽 晴美	写真評論家
中村 征夫	写真家
原 耕一	アートディレクター
光田 由里	美術評論家

■第35回フォトフェスタ（7/30～8/28）

- 写真インディペンデンス展
- 東川賞歴代受賞作家屋外展「写真と冒険」
- GAKKOTEN～大学・専門学校屋外写真展
- 赤レンガ写真展ほか

■2019年のあれこれ

- フォトフェスタをより視覚的に楽しんでもらうため、この年から町市街地を中心に屋外での写真展示を大幅に強化した。「東川賞歴代受賞作家屋外展」「GAKKOTEN」などの新たな取り組みはいずれも好評で、その後も恒例となった。
- 2019年度（令和元年度）末に当たる2020年2月ごろから、新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、19年度末に当たる20年3月に予定していた写真ワークショップ事業などが中止に追い込まれ

た。流行はその後も繰り返され、「写真の町」の取り組みも制約を受けた。



第2章 フォトフェスタと写真甲子園

## 第2節 写真甲子園

### 開催目的

1994年（平成6年）に始まった全国高等学校写真選手権大会（写真甲子園）は、全国の高校写真部・サークルに新しい活動の場や目標、そして出会いと交流の機会を提供し、高校生らしい創造性や感受性の育成と活動の向上をもって、学校生活の充実と特別活動の振興に寄与することを目的とした大会です。

### 開催内容

（高校写真部などから）共同制作による作品（組写真）を募集し、初戦審査会を行い、その中から優れた作品を寄せた学校がブロック審査会出場校に選抜されます。その後、ブロックごとに審査会が開催され、本戦大会出場校を決定します。

各ブロックの代表校は、各校選手3名と担当顧問1名が北海道へ招へいされ、（東川、美瑛、上富良野、東神楽、旭川の）4町1市に広がるフィールドを舞台に開催される写真甲子園本戦大会に出場します。

本戦大会では、撮影ステージでの学校対抗のチーム戦、撮影ステージでは貴重な動植物がいきづく東川町～美瑛町～上富良野町～東神楽町～旭川市一帯の大雪山国立公園の自然、その風土や暮らしなどから各チームがデジタルカメラで撮影。提出作品のセレクトが行われ、公開審査によって優勝校ほか各賞が決定されます。

(ここまで「写真の町通信No.34」より抜粋)

この後、1994年（平成6年）の第1回から2019年（令和元年）の第26回まで、写真甲子園本戦結果と審査委員を紹介する。表は左から、毎年各賞、選出ブロック（第21回までは8ブロック制、第22回から11ブロック制）、学校名、本戦出場回数だ。

一方、写真の町東川賞と同様、本書ではスペースの制約などから各校の作品紹介は十分にできない。このため作品の閲覧や各年の審査会の様子などは、写真甲子園の公式ホームページ（HP）を参照するとよい。

写真甲子園HPは次の通り（2022年8月時点）

<https://syakou.jp/>

1994 第1回

優勝 (北海道知事賞)	四国	愛光	初
準優勝 (北海道新聞社賞)	九州・沖縄	筑紫台	初
優秀賞 (東川町長賞)	中国	島根県立松江工業	初
優秀賞 (美瑛町長賞)	中部・東海	中越	初
優秀賞 (上富良野町長賞)	中部・東海	日本大学三島	初
特別賞	北海道	函館白百合学園	初
	東北	福島県立磐城女子	初
	関東	栃木県立宇都宮白楊	初
	関東	足利工業大学附属	初
	近畿	メリノール女子学院	初
	近畿	大阪市立工芸	初
	九州・沖縄	東福岡	初

審査委員長	立木 義浩	写真家
ゲスト審査委員	橋口 譲二	写真家
	水越 武	写真家
審査委員	山崎 幸雄	アサヒカメラ編集長
	三留 秀次	カメラマン編集長
	阿部 庄之助	CAPA 総編集長
	高田 準	CAPA 編集長 (本戦最終日)
	吉岡 達夫	コマーシャル・フォト編集長
	梶原 高男	日本カメラ編集長
	市川 正昭	キヤノン販売(株)カメラ販売事業部 CR 部長
	飛田 信彦	北海道新聞社編集委員

1995 第2回

優勝 (北海道知事賞)	北海道	函館白百合学園	2
準優勝 (北海道新聞社賞)	四国	愛媛県立大州農業	初
優秀賞 (東川町長賞)	近畿	市川	初
優秀賞 (美瑛町長賞)	九州・沖縄	筑紫台	2
優秀賞 (上富良野町長賞)	中部・東海	岐阜県立大垣工業	初
特別賞	東北	青森県立青森工業	初
	関東	足利工業大学附属	2
	関東	千葉県立天羽	初
	中部・東海	新潟明訓	初
	近畿	兵庫県立星陵	初
	中国	山口県立西京	初
	九州・沖縄	八代白百合学園	初

審査委員長	立木 義浩	写真家
ゲスト審査委員	橋口 譲二	写真家
	伊東 剛	写真家
審査委員	阿部庄之助	CAPA 総編集長
	吉岡 達夫	別冊コマーシャル・フォト・シリーズ編集長
	梶原 高男	日本カメラ編集長
	曾根 陽一	月間カメラマン編集長特派・写真家

1996 第3回

優勝 (北海道知事賞)	近畿	大阪府立大手前定時制	初
準優勝 (北海道新聞社賞)	北海道	函館白百合学園	3
優秀賞 (東川町長賞)	東北	青森県立青森南	初
優秀賞 (美瑛町長賞)	近畿	大阪市立工芸	2
優秀賞 (上富良野町長賞)	中部・東海	日本大学三島	2
特別賞	関東	栃木県立宇都宮白楊	2
	関東	神奈川県立鶴見	初
	中部・東海	中越	2
	中国	広島県立三和	初
	四国	愛媛県立上浮穴	初
	九州・沖縄	筑紫台	3
	九州・沖縄	福岡県立築上西	初

審査委員長	立木 義浩	写真家
ゲスト審査委員	竹内 敏信	写真家
	竹田津 実	写真家・エッセイスト・獣医
審査委員	阿部庄之助	CAPA 総編集長
	吉岡 達夫	別冊コマーシャル・フォト・シリーズ編集長
	梶原 高男	日本カメラ編集長
	平木 収	アサヒカメラ編集長特派・写真評論家
	落合 憲弘	月間カメラマン編集長特派・写真記者

1997 第4回

優勝 (北海道知事賞)	関東	東京学芸大付属大泉校舎	初
準優勝 (北海道新聞社賞)	近畿	大阪市立工芸	3
優秀賞 (東川町長賞)	四国	愛光	2
優秀賞 (美瑛町長賞)	北海道	北星学園余市	初
優秀賞 (上富良野町長賞)	中国	鳥取県立鳥取聾学校	初
特別賞	東北	青森県立青森南	2
	関東	成田	初
	中部・東海	中越	3
	中部・東海	豊川	初
	近畿	京都府立綾部	初
	九州・沖縄	福岡県立築上西	2
	九州・沖縄	沖縄県立豊見城	初

審査委員長	立木 義浩	写真家
ゲスト審査委員	竹田津 実	写真家・エッセイスト・獣医
	大石 芳野	写真家
審査委員	阿部庄之助	CAPA 総編集長
	吉岡 達夫	別冊コマースナル・フォト編集長
	平木 収	アサヒカメラ編集長特派・写真評論家
	落合 憲弘	月間カメラマン編集長特派・写真記者

1998 第5回

優勝 (北海道知事賞)	東北	岩手県立盛岡北	初
準優勝 (北海道新聞社賞)	北海道	札幌北	初
優秀賞 (東川町長賞)	九州・沖縄	沖縄県立北山	初
優秀賞 (美瑛町長賞)	九州・沖縄	福岡県立宇美商業	初
優秀賞 (上富良野町長賞)	近畿	大阪市立工芸	4
特別賞	関東	茨城県立笠間	初
	関東	神奈川県立鶴見	2
	中部・東海	中越	4
	中部・東海	岐阜県立大垣工業	2
	近畿	海星	初
	中国	岡山県立玉野光南	初
	四国	愛媛県立今治東	初

審査委員長 立木 義浩 写真家  
 ゲスト審査委員 竹田津 実 写真家・エッセイスト・獣医  
 大石 芳野 写真家・フォトジャーナリスト

審査委員 阿部 庄之助 CAPA 総編集長  
 吉岡 達夫 別冊コマーシャル・フォト編集長  
 梶原 高男 日本カメラ編集長  
 市川 正昭 キヤノン販売(株)カメラ販売事業部 CR 部長  
 広瀬 博 アサヒカメラ編集長  
 日比野敏一 月間カメラマン編集長  
 谷口 勲夫 北海道新聞社写真部長

1999 第6回

優勝 (北海道知事賞)	中部・東海	新潟県立十日町総合	初
準優勝 (北海道新聞社賞)	九州・沖縄	八代白百合学園	2
優秀賞 (東川町長賞)	中国	広島県立三和	2
優秀賞 (美瑛町長賞)	近畿	大阪市立工芸	5
優秀賞 (上富良野町長賞)	北海道	札幌静修	初
特別賞	東北	秋田県立横手	初
	関東	三浦	初
	関東	川崎市立川崎総合科学	初
	中部・東海	新潟県立村松	初
	近畿	兵庫県立小野工業	初
	四国	香川県立土床	初
	九州・沖縄	沖縄県立真和志	初

審査委員長 立木 義浩 写真家  
 ゲスト審査委員 竹田津 実 写真家・エッセイスト・獣医  
 大石 芳野 写真家・フォトジャーナリスト

審査委員 梶原 高男 日本カメラ編集顧問  
 広瀬 博 アサヒカメラ編集長  
 日比野敏一 月間カメラマン編集長  
 谷口 勲夫 北海道新聞社写真部長  
 須藤 茂樹 学研雑誌第三編集部カメラ編集室長  
 吉川八百美 玄光社顧問  
 田村 民雄 キヤノン販売(株)カメラ CR 部副部長

2000 第7回

優勝 (北海道知事賞)	北海道	北海道立札幌厚別	初
準優勝 (北海道新聞社賞)	近畿	大阪市立工芸	6
優秀賞 (東川町長賞)	四国	愛媛県立大州農業	2
優秀賞 (美瑛町長賞)	中国	広島県立三和	3
優秀賞 (上富良野町長賞)	中部・東海	新潟県立十日町総合	2
特別賞	東北	青森県立青森南	3
	東北	山形県立酒田商業	初
	関東	茨城県立笠間	2
	関東	栃木県立宇都宮白楊	3
	関東	三浦	2
	中部・東海	岐阜県立岐阜	初
	近畿	兵庫県立小野工業	2
	九州・沖縄	熊本県立東稜	初
	九州・沖縄	沖縄県立真和志	2

審査委員長	立木 義浩	写真家
ゲスト審査委員	竹田津 実	写真家・エッセイスト・獣医
	大石 芳野	写真家・フォトジャーナリスト
審査委員	広瀬 博	アサヒカメラ編集長
	日比野敏一	月間カメラマン編集長
	谷口 勲夫	北海道新聞社写真部長
	須藤 茂樹	学研 CAPA 総編集長
	田村 民雄	キヤノン販売(株)カメラ CR 部 副部長
	河村 民子	コマーシャル・フォト編集長
	河野 和典	日本カメラ編集長

2001 第8回

優勝 (北海道知事賞)	東北	秋田県立横手	2
準優勝 (北海道新聞社賞)	近畿	大阪市立工芸	7
優秀賞 (東川町長賞)	四国	愛媛県立大州農業	3
優秀賞 (美瑛町長賞)	近畿	兵庫県立小野工業	3
優秀賞 (上富良野町長賞)	中部・東海	甲陵	初
特別賞	北海道	北海道旭川凌雲	初
	東北	青森県立大畑	初
	関東	茨城県立牛久米進	初
	関東	埼玉栄	初
	関東	千葉県立成東	初
	中部・東海	新潟県立村松	2
	中国	広島県立庄原格致	初
	九州・沖縄	八代白百合学園	3
	九州・沖縄	沖縄県立那覇工業	初

審査委員長	立木 義浩	写真家
ゲスト審査委員	竹田津 実	写真家・エッセイスト・獣医
	大石 芳野	写真家・フォトジャーナリスト
審査委員	田村 民雄	キヤノン販売(株)フォトハウス 部副部長
	三浦寿美男	北海道新聞社写真部長

2002 第9回

優勝 (北海道知事賞)	東北	青森県立青森南	4
準優勝 (北海道新聞社賞)	中国	鳥取県立鳥取聾学校	2
優秀賞 (東川町長賞)	近畿	三重県立上野	初
優秀賞 (美瑛町長賞)	九州・沖縄	八代白百合学園	4
優秀賞 (上富良野町長賞)	近畿	大阪市立工芸	8
特別賞	北海道	北星学園余市	2
	東北	宮城県泉松陵	初
	関東	栃木県立栃木農業	初
	関東	川崎市立川崎総合科学	2
	関東	三浦	3
	中部・東海	甲陵	2
	中部・東海	岐阜県立大垣工業	3
	四国	愛媛県立松山西	初
	九州・沖縄	沖縄県立真和志	3

審査委員長	立木 義浩	写真家
ゲスト審査委員	竹田津 実	写真家・エッセイスト・獣医
	大石 芳野	写真家・フォトジャーナリスト
審査委員	川名 廣義	キヤノン販売(株)フォトハウス 部部長
	高橋 雅博	北海道新聞社写真部長

2003 第10回

優勝 (北海道知事賞)	九州・沖縄	沖縄県立真和志	4
準優勝 (北海道新聞社賞)	九州・沖縄	八代白百合学園	5
優秀賞 (東川町長賞)	関東	埼玉栄	2
優秀賞 (美瑛町長賞)	近畿	初芝	初
優秀賞 (上富良野町長賞)	関東	埼玉県立大井	初
特別賞	北海道	北海道旭川工業	初
	東北	宮城県気仙沼向洋	初
	東北	秋田県立横手	3
	関東	栃木県立栃木農業	2
	中部・東海	新潟県立十日町総合	3
	中部・東海	岐阜県立大垣工業	4
	近畿	三重県立上野	2
	中国	広島県立三次	初
	四国	愛媛県立大洲農業	4

審査委員長	立木 義浩	写真家
ゲスト審査委員	竹田津 実	写真家・エッセイスト・獣医
	大石 芳野	フォトジャーナリスト
		東京工芸大学芸術学部教授
審査委員	川名 廣義	キヤノン販売(株)フォトハウス 部部長
	松原 国臣	北海道新聞社写真部長

2004 第11回

優勝 (北海道知事賞)	東北	青森県立青森南	5
準優勝 (北海道新聞社賞)	九州・沖縄	沖縄県立真和志	5
優秀賞 (東川町長賞)	中国	広島県立庄原格致	2
優秀賞 (美瑛町長賞)	近畿	大阪市立工芸	9
優秀賞 (上富良野町長賞)	近畿	兵庫県立香寺	初
特別賞	北海道	北海道旭川工業	2
	東北	秋田県立大館	初
	関東	埼玉栄	3
	関東	千葉黎明	初
	関東	和光	初
	中部・東海	新潟県立十日町総合	4
	中部・東海	聖霊	初
	四国	香川県立坂出	初
	九州・沖縄	沖縄県立浦添工業	初

審査委員長	立木 義浩	写真家
ゲスト審査委員	竹田津 実	写真家・エッセイスト・獣医
	大石 芳野	フォトジャーナリスト
		東京工芸大学芸術学部教授
審査委員	川名 廣義	キヤノン販売(株)フォトハウス 部部長
	松原 国臣	北海道新聞社写真部長

2005 第12回

優勝 (北海道知事賞)	北海道	北海道旭川工業	3
準優勝 (北海道新聞社賞)	東北	岩手県立盛岡北	2
優秀賞 (東川町長賞)	中部・東海	新潟県立十日町総合	5
優秀賞 (美瑛町長賞)	近畿	大阪市立工芸	10
優秀賞 (上富良野町長賞)	九州・沖縄	沖縄県立真和志	6
特別賞	東北	秋田県立横手	4
	関東	埼玉栄	4
	関東	和光	2
	関東	東京都立光丘	初
	中部・東海	岐阜県立土岐商業	初
	近畿	兵庫県立香寺	2
	中国	岡山県立玉野光南	2
	四国	愛光	3
	九州・沖縄	沖縄県立那覇工業	2

審査委員長	立木 義浩	写真家
ゲスト審査委員	竹田津 実	写真家・エッセイスト・獣医
	榎並 悦子	写真家
審査委員	川名 廣義	キヤノン販売(株)フォトカルチャー推進部部长
	松原 国臣	北海道新聞社写真部長







## 2009 第16回

優勝 (北海道知事賞)	九州・沖縄	沖縄県立南部工業	初
準優勝 (北海道新聞社賞)	九州・沖縄	沖縄県立真和志	9
優秀賞 (東川町長賞)	関東	栃木県立栃木工業	3
優秀賞 (美瑛町長賞)	中部・東海	新潟県立十日町総合	6
優秀賞 (上富良野町長賞)	関東	埼玉栄	6
優秀賞 (東神楽町長賞)	近畿	大阪信愛女学院	初
優秀賞 (旭川市長賞)	東北	宮城県柴田農林	2
敢闘賞	北海道	北海道帯広南	3
	北海道	北海道留萌	初
	東北	福島県立郡山東	2
	関東	千葉県立柏南	2
	関東	明星学園	初
	中部・東海	岐阜県立東濃フロンティア	初
	中部・東海	静岡県立伊東高等学校城ヶ崎分校	2
	近畿	大阪市立工芸	12
	四国	島根県立松江南	初
	四国	香川県立坂出商業	初
	四国	愛媛県立伊予農業	初

審査委員長 立木 義浩 写真家  
 ゲスト審査委員 竹田津 実 写真家・エッセイスト・獣医  
 榎並 悦子 写真家  
 審査委員 奥田 明久 アサヒカメラ編集長  
 山崎 隆志 北海道新聞社

2010 第17回

優勝 (北海道知事賞)	九州・沖縄	沖縄県立南部工業	2
準優勝 (北海道新聞社賞)	近畿	大阪府立成城	初
優秀賞 (東川町長賞)	東北	宮城県柴田農林	3
優秀賞 (美瑛町長賞)	九州・沖縄	八代白百合学園	8
優秀賞 (上富良野町長賞)	関東	さいたま市立大宮北	初
優秀賞 (東神楽町長賞)	北海道	北海道帯広南商業	4
優秀賞 (旭川市長賞)	関東	栃木県立栃木工業	4
敢闘賞	北海道	旭川実業	初
	東北	盛岡中央	初
	関東	千葉県立柏南	3
	関東	正則	2
	中部・東海	富山県立富山東	初
	中部・東海	愛知県立小牧南	初
	中部・東海	愛知県立津島東	初
	近畿	姫路市立飾磨	初
	中国	出雲西	初
	中国	山口県立下松	初
	四国	愛媛県立北宇和	初

審査委員長 立木 義浩 写真家  
 ゲスト審査委員 竹田津 実 写真家・エッセイスト・獣医  
 米 美知子 写真家  
 審査委員 坂本 直樹 月間カメラマン編集長  
 川人 正善 北海道新聞社写真部部长

2011 第18回

優勝 (北海道知事賞)	近畿	大阪府立成城	2
準優勝 (北海道新聞社賞)	九州・沖縄	沖縄県立南部工業	3
優秀賞 (東川町長賞)	九州・沖縄	八代白百合学園	9
優秀賞 (美瑛町長賞)	関東	群馬県立大間々	初
優秀賞 (上富良野町長賞)	関東	正則	3
優秀賞 (東神楽町長賞)	関東	栃木県立栃木工業	5
優秀賞 (旭川市長賞)	四国	香川県立坂出	3
敢闘賞	北海道	北海道帯広南商業	5
	北海道	北海道旭川工業	5
	東北	盛岡中央	2
	東北	石巻市立女子	初
	東北	宮城県石巻好文館	初
	東北	宮城県柴田農林	4
	関東	明星学園	2
	中部・東海	中越	5
	中部・東海	静岡県立伊東高等学校城ヶ崎分校	3
	中部・東海	愛知県立田口	初
	近畿	大商学園	初
	近畿	兵庫県立伊丹西	初
	中国	山口県立下松	2

審査委員長	立木 義浩	写真家
ゲスト審査委員	竹田津 実	写真家・エッセイスト・獣医
	米 美知子	写真家
審査委員	川人 正善	北海道新聞社写真部部長
	石田 立雄	CAPA 編集長

## 2012 第19回

優勝 (北海道知事賞)	九州・沖縄	沖縄県立浦添工業	2
準優勝 (北海道新聞社賞)	九州・沖縄	西南学院	初
優秀賞 (東川町長賞)	中部・東海	静岡県立伊東高等学校 城ヶ崎分校	4
優秀賞 (美瑛町長賞)	四国	香川県立坂出	4
優秀賞 (上富良野町長賞)	近畿	関西学院高等部	初
優秀賞 (東神楽町長賞)	関東	新島学園	2
優秀賞 (旭川市長賞)	中国	広島県立庄原格致	4
敢闘賞	北海道	北海道帯広南商業	6
	北海道	北海道札幌稲西	初
	東北	宮城県石巻好文館	2
	東北	宮城県柴田農林	5
	関東	栃木県立今市工業	初
	関東	埼玉栄	7
	関東	東京都立小石川中等 教育学校	初
	中部・東海	新潟県立十日町総合	8
	中部・東海	飯田女子	初
	近畿	大阪府立生野	初
	近畿	兵庫県立伊丹西	2

審査委員長 立木 義浩 写真家  
 ゲスト審査委員 竹田津 実 写真家・エッセイスト・獣医  
 米 美知子 写真家  
 審査委員 岩井 直樹 北海道新聞社写真部部长  
 川上 義哉 デジタルカメラマガジン編集長

2013 第20回

優勝 (北海道知事賞)	関東	埼玉栄	8
準優勝 (北海道新聞社賞)	九州・沖縄	沖縄県立浦添工業	3
優秀賞 (東川町長賞)	中部・東海	富山県立富山東	2
優秀賞 (美瑛町長賞)	近畿	大阪市立工芸	13
優秀賞 (上富良野町長賞)	北海道	北海道岩見沢高等養護 学校	初
優秀賞 (東神楽町長賞)	近畿	兵庫県立伊丹西	3
優秀賞 (旭川市長賞)	北海道	帯広南商業	7
敢闘賞	東北	宮城県迫桜	初
	東北	石巻市立女子	2
	関東	茨城県立藤代	初
	関東	新島学園	3
	関東	東京都立小石川中等教 育学校	2
	中部・東海	飯田女子	2
	中部・東海	愛知県立昭和	初
	近畿	滝川	初
	中国	島根県立松江南	2
	四国	愛媛県立宇和	初
	九州・沖縄	沖縄県立那覇工業	3
	特別記念枠	聖和女子学院	初
	特別記念枠	大分東明	初

審査委員長	立木 義浩	写真家
ゲスト審査委員	竹田津 実	写真家・エッセイスト・獣医
	米 美知子	写真家
審査委員	岩井 直樹	北海道新聞社写真部部長
	前田 利昭	日本カメラ編集長

2014 第21回

優勝 (北海道知事賞)	中部・東海	愛知県立津島東	2
準優勝 (北海道新聞社賞)	関東	埼玉栄	9
優秀賞 (東川町長賞)	九州・沖縄	沖縄県立浦添工業	4
優秀賞 (美瑛町長賞)	四国	香川県立坂出	5
優秀賞 (上富良野町長賞)	東北	石巻市立女子	3
優秀賞 (東神楽町長賞)	関東	埼玉県立芸術総合	初
優秀賞 (旭川市長賞)	北海道	北海道江別	初
敢闘賞	北海道	北海道名寄産業	初
	東北	宮城県泉館山	初
	関東	群馬県立藤岡北	初
	関東	埼玉県立浦和第一女子	初
	中部・東海	中越	6
	中部・東海	静岡県立伊東	2
	近畿	大阪府立成城	3
	近畿	帝塚山学院	初
	近畿	大阪市立工芸	14
	中国	山口県立新南陽	初
	九州・沖縄	沖縄県立真和志	10
	オープン参加	レジナ	初
	オープン参加	永仁高中・協和工商・ 復華高級中學	初

審査委員長	立木 義浩	写真家
ゲスト審査委員	竹田津 実	写真家・エッセイスト・獣医
	米 美知子	写真家
審査委員	岩井 直樹	北海道新聞社写真部部長
	藤森 邦晃	フォトコン編集長

## 2015 第22回

優勝 (北海道知事賞)	九州・沖縄	沖縄県立浦添工業	5
準優勝 (北海道新聞社賞)	四国	香川県立坂出商業	2
優秀賞 (東川町長賞)	北関東	埼玉栄	10
優秀賞 (美瑛町長賞)	北海道	北海道岩見沢高等養護 学校	2
優秀賞 (上富良野町長賞)	北関東	埼玉県立芸術総合	2
優秀賞 (東神楽町長賞)	中国	山口県立下松	3
優秀賞 (旭川市長賞)	近畿	和歌山県立神島	初
敢闘賞	北海道	北海道尚志学園	初
	東北	青森県立弘前	初
	東北	宮城県立白石工業	初
	南関東	千葉県立四街道	初
	南関東	千葉県立松戸南	初
	東京	東京都立小石川中等 教育学校	3
	東京	東亜学園	初
	北陸信越	富山県立富山東	3
	東海	光ヶ丘女子	初
	東海	愛知県立津島東	3
	近畿	大阪府立生野	2

審査委員長 立木 義浩 写真家  
 ゲスト審査委員 竹田津 実 写真家・エッセイスト・獣医  
 米 美知子 写真家  
 長倉 洋海 写真家  
 審査委員 岩井 直樹 北海道新聞社編集局解説委員  
 藤井 貴城 フォトテクニックデジタル編  
 集長

2016 第23回

優勝 (北海道知事賞)	中国	島根県立大田	初
準優勝 (北海道新聞社賞)	九州・沖縄	沖縄県立知念	初
優秀賞 (東川町長賞)	東北	宮城県白石工業	2
優秀賞 (美瑛町長賞)	北関東	埼玉栄	11
優秀賞 (上富良野町長賞)	特別	八代白百合学園	10
優秀賞 (東神楽町長賞)	北海道	北海道帯広工業	初
優秀賞 (旭川市長賞)	東京	東京都立総合芸術	初
敢闘賞	北海道	北海道科学大学	2
	東北	青森県立弘前南	初
	北関東	埼玉県立戸田翔陽	初
	南関東	千葉県立四街道	2
	南関東	神奈川県立川崎(定時制)	初
	東京	早稲田大学高等学院	初
	北陸信越	福井県立丹生	初
	東海	富田	初
	東海	愛知県立一宮南	初
	近畿	大阪市立工芸	15
	近畿	和歌山県立神島	2
	四国	香川県立観音寺第一	初

審査委員長	立木 義浩	写真家
審査委員	竹田津 実	写真家・エッセイスト・獣医
	長倉 洋海	写真家
	鶴巻 育子	写真家
	岩井 直樹	北海道新聞社編集局解説委員
	佐々木広人	アサヒカメラ編集長

2017 第24回

優勝 (北海道知事賞)	近畿	和歌山県立神島	3
準優勝 (北海道新聞社賞)	北海道	北海道岩見沢高等養護 学校	3
優秀賞 (東川町長賞)	九州・沖縄	沖縄県立浦添工業	6
優秀賞 (美瑛町長賞)	東北	青森県立弘前南	2
優秀賞 (上富良野町長賞)	南関東	千葉県立四街道	3
優秀賞 (東神楽町長賞)	中国	山口県立下松	4
優秀賞 (旭川市長賞)	東京	女子美術大学付属	初
敢闘賞	北海道	北海道釧路工業(定時制)	初
	北関東	栃木県立鹿沼商工	初
	北関東	栃木県立足利工業	初
	南関東	神奈川県立横浜清陵	初
	東京	東京都立大泉	初
	北陸信越	新潟県立長岡農業	初
	東海	静岡県立沼津西	初
	東海	愛知県立猿投農林	初
	近畿	奈良県立王寺工業	初
	四国	香川県立坂出	6
	九州・沖縄	久留米市立久留米商業	初

審査委員長	立木 義浩	写真家
審査委員	竹田津 実	写真家・エッセイスト・獣医
	長倉 洋海	写真家
	鶴巻 育子	写真家
	公文健太郎	写真家
	野勢 英樹	北海道新聞社写真部次長

## 2018 第25回

優勝 (北海道知事賞)	近畿	和歌山県立神島	4
準優勝 (北海道新聞社賞)	南関東	神奈川県立横浜清陵	2
優秀賞 (東川町長賞)	四国	香川県立坂出商業	3
優秀賞 (美瑛町長賞)	東海	愛知県立豊橋南	初
優秀賞 (上富良野町長賞)	北関東	埼玉県立芸術総合	3
優秀賞 (東神楽町長賞)	九州・沖縄	沖縄県立浦添工業	7
優秀賞 (旭川市長賞)	東京	東京都立総合芸術	2
敢闘賞	北海道	北海道岩見沢高等養護学校	4
	北海道	北海道科学大学	3
	東北	宮城県農業	初
	北関東	埼玉栄	12
	南関東	千葉県立小金	初
	北陸信越	富山県立富山	初
	東海	静岡県立伊東高等学校城ヶ崎分校	5
	東海	愛知県立小牧南	2
	近畿	大阪市立工芸	16
	中国	島根県立大田	2
	四国	愛媛県立今治北高等学校大三島分校	初
	九州・沖縄	沖縄県立真和志	11

審査委員長	立木 義浩	写真家
審査委員	長倉 洋海	写真家
	鶴巻 育子	写真家
	公文健太郎	写真家
	小高 美穂	フォトキュレーター
	野勢 英樹	北海道新聞社写真部次長

2019 第26回

優勝 (北海道知事賞)	近畿	和歌山県立神島	5
準優勝 (北海道新聞社賞)	九州・沖縄	沖縄県立浦添工業	8
優秀賞 (東川町長賞)	北海道	北海道岩見沢高等養護 学校	5
優秀賞 (美瑛町長賞)	中国	出雲北陵	初
優秀賞 (上富良野町長賞)	北関東	新島学園	4
優秀賞 (東神楽町長賞)	近畿	帝塚山学院	2
優秀賞 (旭川市長賞)	北関東	栃木県立足利工業	2
敢闘賞	東北	宮城県農業	2
	北関東	群馬県立富岡実業	初
	南関東	神奈川県立横浜清陵	3
	東京	明治大学附属中野	初
	北陸信越	中越	7
	東海	豊川	2
	東海	愛知県立小牧南	3
	近畿	大阪府立生野	3
	四国	香川県立坂出	7
	四国	香川県立観音寺第一	2
	九州・沖縄	久留米市立久留米商業	2

審査委員長	立木 義浩	写真家
審査委員	長倉 洋海	写真家
	鶴巻 育子	写真家
	公文健太郎	写真家
	小高 美穂	フォトキュレーター
	野勢 英樹	北海道新聞社写真部次長